

普及活動情勢報告（令和3年8月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

農薬の使用方法について見直してみませんか ～特産部会反省会～



ラベルの記載項目を確認
して正しく使いましょう

7月20日にJA春野営農経済センターで特産部会反省会が開催され、ピーマン、ミョウガ等の生産者10名が参加しました。普及所からは、農薬ラベルの記載項目や農薬保管の際の注意点など農薬の安全使用について研修を行いました。生産者からは、「農薬の使用方法について改めて見直すことができた」などの反応があり、農薬の安全使用について理解が深まりました。

今後も、農薬の適正使用や環境保全について呼びかけ、持続可能な農業の普及・推進に取り組んでいきます。

生分解性ネットの試験を行っています ～露地ショウガ実証ほ～



生分解性ネットの設置状況

7月26日、普及所は朝生姜生産組合生産者ほ場で生分解性ネットの設置を行いました。露地ショウガ栽培において、倒伏防止のためショウガネットを設置しますが、大規模農家ではネット除去作業の省力化の声がありました。そこで、土に還る生分解性ネットの実用性を判断する試験を行っています。生産者からは「ネット取り外しの際、ショウガ全体を揺るため、根元が傷つく事も気になっていた」など品質向上に期待する声もありました。

今後、普及所は耐久性や省力化について調査を行い、実用化を目指します。

1年間お疲れ様でした！ ～春野胡瓜部会反省会～



反省会の様子

7/30、8/2、8/3の3日間に渡り、JA高知県春野営農経済センターにて、胡瓜部会の反省会が行われ、51名の生産者が参加しました。販売や生産の実績報告があり、各生産者が1年間を振り返る機会になりました。

普及所は、来作への準備につながる、つる枯病や黄化えそ病の対策と常温煙霧機を用いた省力的な防除方法について、昨年度の実証ほの試験結果と併せて情報を提供しました。

生産者からは、常温煙霧機の効果についての質問があり、実証ほの様子や今後の試験計画について説明しました。

普及所は、来作もJAと協力して、春野のキュウリ産地を盛り上げていきます。

IoP クラウド「サワチ」説明会 ～IoP プロジェクトの推進～



サワチ登録手続きの様子

IoP クラウド「サワチ」利用促進のため、7/30・8/2・8/3 の3日間、JA 高知県春野営農経済センターで説明会を実施し、まずはキュウリ部会全戸への出荷データ提供の同意に関する呼びかけを行いました。春野胡瓜部会副部会長から、サワチは環境制御導入農家だけが恩恵を受けるものではなく、個々の生産者にメリットがあるものだとのご意見もいただき、JA からも産地全体で IoP プロジェクトに取り組む意欲が示されたことで、生産者からは快く同意を得られました。普及所は説明会后に、スマホ等でのデータ閲覧までできるよう、希望者へのサワチ登録手続きも行い、8 名が登録できました。

全戸から出荷データ提供に関する同意を得て、将来的に全ての生産者が利用できるサービスになるよう、JA 営農指導課、販売課と連携し、取り組んでいきます。

春野の「ハウス台帳」を作ろう！ ～今後の営農に関するアンケート調査～



タブレット端末で
アンケート調査を行う様子

8 月 10 日から、春野園芸部会員全戸（289 戸）に対し、今後の営農意向を把握するためのアンケート調査が始まりました。調査項目は、次作の栽培計画、ハウス設備、後継者に関することなどです。

従来の紙媒体でのアンケートとは異なり、今回の調査では、タブレット端末を用いて、データの入力・集計から分析までをスムーズに行う体制を整えました。これにより、生産者のデータを一元的に管理することも可能になります。

新しいやり方の調査に、生産者も少し驚かれている様子でしたが、多くの方が快くアンケートに協力してくださいました。

普及所では、集約されたデータの活用方法を JA と共に協議し、より効率的な営農支援や産地育成に取り組んでいきます。